

様式 6

工事中の消防計画

防火対象物の概要	構造	耐火・準耐火・防火・その他					
	階数	地下 2階・地上 8階					
	面積	延べ 9, 231.4 m ²					
	用途	事務所・飲食店・物品販売店舗・駐車場					
	消防法上必要な設備	(現在、建物に設置されている消防用設備等を記入する。) 消火器・屋内消火栓設備・粉末消火設備・自動火災報知設備・非常放送設備 誘導灯・連結送水管・救助袋					
建築基準法上の防災設備	(消火活動上の必要な設備をすべて記入する。) 非常用エレベーター・排煙設備・防火戸・非常照明・自家発電設備 屋外避難階段・非常用出入口						
使用部分	階数	地下 2階・地上1～4、6～8階		工事部分	階数	地下 階・地上 5階	
	面積	延べ 8,321.4 m ²		工事部分	面積	延べ 910 m ²	
工事期間中に使用又は活用できないもの							
	工事期間及び時間	使用不能の施設・設備等の種別	箇所	代替措置の概要	管理の方法		
消防用設備等	平成 2年3月31日～平成2年5月10日 (7:00～20:00)	(使用できない消防用設備等を記入する。) ・屋内消火栓設備 ・自動火災報知設備 ・非常放送設備 ・誘導灯	(工事部分の階層及び用途名を記入する。) 5階事務所改装部分	1 消火器 A3B8C 4本増設 2 パッケージ型消火設備を屋内消火栓の代替として設置する。 3 天井張替えのため自動火災報知設備の感知器,非常放送のスピーカは取り外すが、P型発信機を生かしておくものとする。 4 工事部分にあたるものは電源遮断。工事区画により避難経路が変わるものは撤去し、標識を増設する。	1 毎回巡回し,設置位置の確認、故障・破損などの異状の有無を点検し、不備があればその場で改修し支障のないよう維持する。 2 消防用設備は、〇〇防災が管理する。		
避難施設	平成 2年3月31日～平成2年5月10日 (7:00～20:00)	屋外避難階段(東側)	8階～地下2階に通じるもの 5階事務所改装部分	1 工事中は5階に緩降機1基を設置する。 2 5階営業部分は2方向避難を確保する。屋外避難階段へ避難する。	1 緩降機の設置場所、降下空間は物品放置による使用障害がないよう毎回巡回を行い維持する。 2 屋内階段は5階を除き、営業(使用)部分は使用に支障のないよう維持する。 3 緩降機は、〇〇防災が設置し、事前に着工届出書を提出し、指導を受けるものとする。		
非常用出入口	平成 2年3月31日～平成2年5月10日 (7:00～20:00)		5階東側道路に面した部分	代用出入口を設け、▼マークを表示する。	出入口の屋内部分は、使用の際に支障とならないよう整理・整頓を行い、毎日の巡回により、徹底する。		
工事部分及び使用部分の防火区画の方法	工事部分と使用部分とは不燃プラスターボードによる仮囲いを施す。(工事部分～緑色部分,別添平面図参照) なお、仮囲いが困難な場所、又は火花を発生する器具を使用する場合は、防災の工事用シートを使用する。						

工事に伴う火気及び火災発生のおそれがあるもの

	種 類	量	集積又は設置方法	管 理 の 方 法
火 気 設 備	(花火を発生する器具名を記入する。) アセチレン溶接器具 トーチランプ 電気溶接器	(各数量を記入する。) 1 基 3 基 2 基	専用のガードにて固定する。	1 使用時には、消火器、水バケツを設置する。 2 防災工事用シートを使用し、床面等の保護を行う。 3 作業前に周囲の清掃、整理を行う。 4 作業後の残火の点検、確認を行う。 5 使用時の巡回、使用時は火元責任者が行う。 6 工事場所内は禁煙とし、工事事務所(別棟)前に専用灰皿容器を設置し午前(10時)午後(3時)(5時)の指定時に喫煙させることとする。
危 険 物	塗料 シンナー 灯油 機械油 ボンド(接着剤)	18リットル缶 2個 18リットル缶 1個 10リットル缶 1個 10リットル缶 1個 10リットル缶 1個	仮囲いの一定場所に1日使用量分を集積する。 搬入は、少量危険物数量の範囲内で1日使用分とする。(届け出済) 残ったものについては、その日の工事終了後に搬出する。	1 集積場所を指定する。 2 集積量は規定量以内となるよう徹底する。 3 責任者を表示し、使用時に立ち会う。 4 火気厳禁・喫煙禁止を表示し、これらの行為を禁止する。
資 料	ボード 石材 木材、木材加工品 発砲ウレタン	180枚 20㎡ 400㎡ 400㎡	1 一定場所に集積する。 2 当日、施工分のみ搬入し、残った場合は仮囲い内に保管場所を設定し整理する。 3 資材の搬入は営業前に完了させ、営業中の避難経路障害を防止するものとする。	1 責任者を表示する。 2 整理・整頓を徹底する。 3 火気使用時には火気使用部分から移動整理する。 4 防災シートで覆う。
機 械 器 具	丸のこ 金切りのこ サンダー コンプレッサー 電気ドリル 高速カッター	1台 1台 2台 1台 3台 1台	1 所定の場所に整理して保管する。 2 使用日以外は持ち帰る。	1 有資格者を指定し、表示する。 2 防災工事用シートを使用し、床面等の保護を行う。 3 作業前に機器の清掃、点検を行う。

火 災 予 防 対 策

工 事 部 分 の 対 策 及 び 組 織

- 1 有機溶剤等の使用は、責任者に管理させ、一般部分と区画を行い、責任者の表示をする。
 - 2 火気を使用する場合は、消火器の配置と防災工事用シートを使用し、作業終了時に点検し、管理者に報告する。
 - 3 現場事務所に緊急連絡組織及び防火組織を表示し、全員に趣旨を徹底する。
 - 4 喫煙場所を1ヵ所設け、消火器と灰皿を配置し、全員がこの場で喫煙するよう教育する。
 - 5 各下請業者に必要な応じ、消火器2本を付与する。
- なお、現場内にも消火器を配置する。

工事部分	工事区分	火元責任者等
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">防火責任者</div> ㈱北野工務店 工務主任 南山 高志	溶接溶断機器	札幌興業(株) 原田大二郎
	塗 装	豊平塗装(株) 菅原 道真
	内装、天井施工	白石建築(株) 見上 裕治
	電気工事	手稲電設(株)工務課長 平和 太郎
	消防用設備	〇〇防災(株) 柏原 郁郎

使 用 部 分 の 対 策 及 び 組 織

- 1 従来の自衛消防隊組織の強化を図り、工事部分の階についての、巡回を強化し、安全確保を徹底する。
- 2 現場内は、常に整理・整頓に努め、安全通路を確保し、決められた場所時間に資材を搬入させ、避難路を確保するものとする。
- 3 火気使用設備器具は、事前に点検・整備したものを現場に搬入し、安全を確保する。

使用部分	場 所	火元責任者
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">防火責任者</div> 管理部長 中央 一郎	8階～7階	札幌不動産(株) 山川 次郎
	6階	居酒屋平野 平野 一雄
	4階～1階	スーパー北海道 北河 義男
	地下1階～2階駐車場	管理課 内田 太郎
	危険物施設	管理課 木村 一成

災 害 発 生 時 の 対 策 及 び 自 衛 消 防 組 織

火災が発生した場合は、直ちに119番通報するとともに、下図分担により使用部分及び工事部分の連携を図り、活動を行う。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">自衛消防隊長</div> (代表取締役 札幌 太郎)	使用部分地区隊長 職名 管理部長 中央 一郎	通報連絡班	管理課長 厚別 憲二 以下 5名	
		消 火 班	札幌不動産(株) 山川 次郎 以下 13名	
		避難誘導班	スーパー北海道 北河 義男 以下 25名	
		防護安全班	総務課長 東 京次 以下 7名	
		工事部分地区隊長 職名 ㈱北野工務店 工務主任 南山 高志	通報連絡班	手稲電設(株)工務課長 平和 太郎 以下 3名
消 火 班	白石建築(株) 見上 裕治 以下 5名			
避難誘導班	〇〇防災(株) 柏原 郁郎 以下 5名			
防護安全班	豊平塗装(株) 菅原 道真 以下 3名			

※ 災害発生時の連絡方法

- 1 工事現場内からの火災発生通報 —— 非常ベルの操作による。
- 2 ビル内での火災発生通報 —— 自動火災報知設備の作動、非常ベルの操作による。
- 3 相互での緊急通報 —— 管理課事務所と、工事現場事務所双方に設置したインターホンにより行う。

使用部分と工事部分の相互の連絡体制

- 1 定例会議、工程会議等において工事の内容、工事の進捗状況及び火気の取扱い、使用状況をチェックし、防火管理体制を確立する。
- 2 夜間作業については、緊急連絡先一覧表を作成し、現場内に掲出する。
- 3 使用部分と工事部分は、仮囲いにより明確に区分し、相互の連絡は管理事務所、警備室に対し施設管理者を通じ、綿密に行う。
- 4 作業中は、日中は社員を常時配置し、夜間は警備員が1名立会いする。

教育訓練の実施計画等

- 1 工事部分にあつては、業務中の火気取り扱い、消火器の取扱いについて施工業者責任者から教育指導を受ける。
- 2 巡回中の警備員に火気取扱い等について注意を喚起させる。

※その他

- ①～④を添付
- ① 付近見取図(方位、道路等を明示したもの)
 - ② 配置図(縮尺、方位、敷地の境界線及び敷地内における建築物の位置を明示したもの)
 - ③ 工事を行う階及び関係する階の平面図(縮尺、方位、間取、各室の用途、開口部・防火戸の位置、工事部分(緑色部分)・使用部分の区分及び消防用設備等の設置状況を明示したもの)
 - ④ 工事行程表